

「家庭学習MGC」実践例

鹿児島市
教育委員会

宮小学校 4年

○ 家庭学習の基本的な考え方

「自律・自走する子供」の育成に向け、家庭学習においても、子供の自己選択・自己決定の機会を位置付ける。

【基本的な流れ】AARサイクル (Anticipation Action Reflection) に基づく家庭学習

A：前日の家庭学習や1日の学習を振り返り、家庭学習の目標と計画を立てる（内容と方法の自己選択・自己決定）。

A：計画した内容と方法に沿って家庭学習に取り組む。

R：今日の家庭学習を振り返り、明日の家庭学習を見通す。

宮小学校 今週の家庭学習「マイゴールチャレンジ」

()年 ()月 ()日

前日の家庭学習や今日の学習を振り返りながら、家庭学習の目標を立てましょう。そして、「何に」「どのように」取り組むかについて、計画を立てましょう。

【家庭学習の進め方】

① 今日の学習を振り返り、目標を立てる。(何のために、なぜ)
② 家庭学習の計画を立てる。(何に、どのように)
(自分で決めて取り組む内容の例)
授業で教習したことと実習する(大切なことやまとめを読む。複習問題をする。西手な問題に取り組む)。
・音読しているところを音読する。
・次の用事の予習をする。(教科書を読み、言葉の意味を調べてみる)など
③ 計画にそって取り組む。
④ 今日の家庭学習が終わったら、振り返りをして、明日の家庭学習でがんばりたいこと(目標)を考える。

【今週の記録等(例)】

○家庭学習の進め方
○今週の目標と計画を記入
○今週の振り返りと来週の目標を記入
※例を基本に学年段階や実態に応じてアレンジする。

【毎日の記録】

○今日の目標と計画を記入
○今日の振り返りと明日の目標を記入
※例を基本に学年段階や実態に応じてアレンジする。

【毎日の見通し(A)】

○毎日の目標と計画を記入
○毎日の振り返りと明日の目標を記入
※例を基本に学年段階や実態に応じてアレンジする。

【毎日の振り返り(R)】

○毎日の目標と計画を記入
○毎日の振り返りと明日の目標を記入
※例を基本に学年段階や実態に応じてアレンジする。

○ MGCの取組

【小学4年生 算数科「垂直・平行と四角形」のMGC】

四角形の分類方法に関する理解を深めるため、取組方法のモデルに沿って、内容と方法を自己選択・自己決定しながら進めた家庭学習

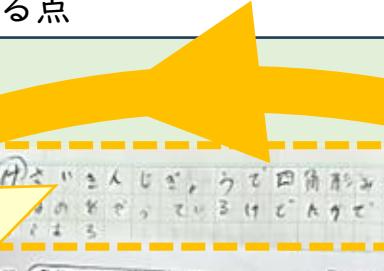
★ポイント

- 取組方法のモデルとして「①目標・計画 → ②テスト → ③分析 → ④練習・振り返り」の流れを提示している点（子供自身のアレンジ可）
- 定着を確認してから練習内容と方法を考えることで、自己選択・自己決定の根拠を明確にしている点

①【目標・計画】

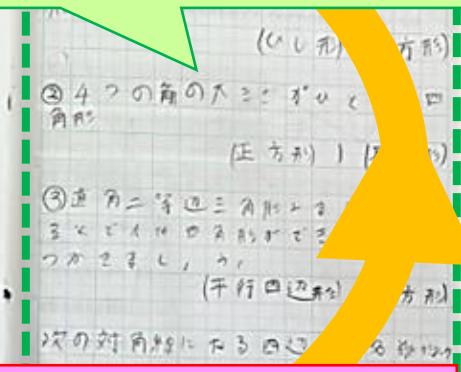
- 一日の学びの振り返り
- 目標と内容・方法の決定

四角形のきまりを分か
るようになるぞ。



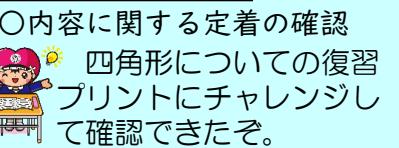
④【練習・振り返り】

- 計画に沿った練習
- 振り返り(カードへ)
きまりを使って、四角形の仲間分けの問題を選んで練習してできるようになったぞ。



②【テスト】

- 内容に関する定着の確認
四角形についての復習
プリントにチャレンジして確認できたぞ。



③【分析】

- テスト結果の分析
- 練習内容と方法の決定
四角形を仲間分けする問題
ができないないなあ。

※参考になる児童の宅習ノートを学級掲示や週報掲載を通して家庭との連携を図っている。

○ 家庭学習の基本的な考え方

《子供に伝えていること》 ※一部抜粋

- ★ 自ら考え判断し、家庭学習に取り組めるようになってほしい。
- ★ 勉強の時間帯を決め、できるだけ早い時刻に終わらせるよう取り組む。
- ★ 今日学習した教科で大切なところや重要語句を振り返り、宅習ノートにまとめる。分からぬ問題は、赤鉛筆で印をつけて家族や先生に質問する。

《保護者に伝えていること》

- ★ 児童が学習しやすい静かな雰囲気をつくり、話し合って学習の時間帯を定め、習慣付けを図ってもらう。
- ★ 1週間に数回は、児童の学習の様子を見守り、励ましの声かけや学習の見届けのサイン等をお願いしている。



【配布資料①（子供）】

【配布資料②（子供・保護者）】

○ MGCの取組

【小学6年生 国語科のMGC】

言語活動を充実させるために、宅習ノートの工夫に取り組んだ家庭学習

★日頃の学習を振り返り、個々の課題をもとにマイゴールを設定させ、個に応じた適切な指導・助言を行いながら、目標達成に向けて宅習ノートに取り組ませる。

学ぶ意義（自分の未来の礎）を宅習ノートのタイトルに込め、目標達成と言語活動の充実に向けたマイゴール設定させている。

己れの寄るべ帳

学年始めは先生のコメント等から、ノートの基本的な取り組み方を学ぶ。

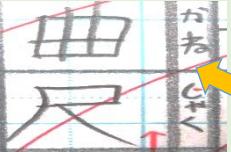


★ 宅習ノートについて、親子で語り合ったり、励ましの声かけやコメントを付けたりしながら、マイゴール達成に向けて支援してもらう。

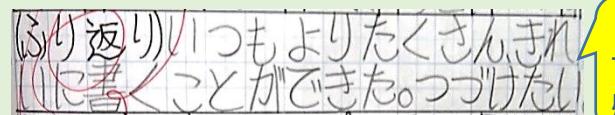


★定期的に宅習ノートを見せ合い、互いの工夫やよさについて意見交換させ、宅習ノートを充実させる。

熟語や慣用句、文章と体形的に言語活動の充実を図る。



自分のことばで振り返ることで
言語活動の充実や自らの成長を
感じることができる。



中学での自学に向け、学んだ英単語を自分でテストし、添削・修正にも取り組む。



★段階的に教師の指導や親の支援から離れ、自ら考え判断し家庭学習に取り組むよう宅習ノートの振り返りに取り組ませる。

「家庭学習MGC」実践例

三島村
教育委員会

三島大里学園 後期課程

○ 家庭学習の基本的な考え方

★ その日の授業で学習したことの復習をする。

- ・ノートや教科書を見て振り返る。
- ・学習者用デジタルコンテンツなどICTの動画などを活用して、授業の振り返りをする。
- ・練習問題や発展問題に取り組む。
- ・分からなかったところを振り返り、学習する。分からぬ場合は、次の授業までに教師や友達に質問し、理解しておく。

★ 次の授業の予習をする。

- ・教科書やワークを確認する。
- ・予習して疑問に思ったことや気になったことは、ノートに書き残し、次の授業で確認する。

★ 自分の苦手な教科を重点的に学習する。

- ・教科書の問い合わせやワークなどを活用する。
- ・学習者用デジタルコンテンツなど補助教材の活用で自分の苦手問題を克服する。

<保護者の関わり方>

- (できるだけ)一緒に目標を確認する。
- 子どもが学習するときは、そばで見守る(目の届くところで)。
- どこまで取り組んだか、一緒に確認する。
- 頑張ったら、褒めたり、認めたりして、自信をもたせる。

○ MGCの取組

【小学生・中学生 日々のMGC】

苦手な分野を克服するために、主体的に取り組んだ家庭学習

★ポイント

<家庭学習のルール>

- ・家庭で学習したもの の内容が分かるよう に写真を撮って、右の日付の空欄に添付する。
※複数ある場合、つな げて添付する。



- ・宿題や宿題以外の自分で学習したものも添付する。デジタ ルドリルの場合は、画面の画像を添付す る。



- ・学習した時間を記入する。
- ・月の最終日に、その月の学習の振り返りをする。

学習支援アプリの共有ノートを利用することで、児童生徒だけではなく、保護者や教師が確認することができ、認めたり、どのような学習をしているのか確認したりすることができる。

家庭学習の取組について説明し、児童生徒や保護者が確 認できるように記載している。

家庭学習MGC (月立三島大里学園 7年(1)番 名前())

家庭学習MGCの取組
① 学校から指示された課題をやりとげたり、漢字や音読、計算練習を継続的に取り組む。
② 授業で分からなかった問題を解いたり、さらに難しい問題に挑戦したりする。
③ ③ 教科書やノートを読み返して、授業で学んだことを「自分ノート」にまとめる。
④ 教科書やノートを見ながら、次の授業で学習する内容を予習する。
⑤ 教科で学習したこと生かして、発展的な学習に取り組む。

家庭学習MGC () 月まとめシート							
曜日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
学びの足跡	実施時間 60 分	60 分	0 分	20 分	15 分	20 分	20 分
実施時間	午前	午後	午後	午後	午後	午後	午後
学びの足跡	午前	10 分	10 分	80 分	50 分	20 分	14 分
実施時間	午前	16 分	17 分	18 分	19 分	20 分	21 分
学びの足跡	午前	15 分	16 分	17 分	18 分	19 分	15 分
実施時間	午前	22 分	23 分	24 分	25 分	26 分	27 分
学びの足跡	午前	90 分	30 分	75 分	15 分	0 分	40 分
実施時間	午前	29 日	30 日	31 日	0 日	0 日	30 日
学びの足跡	午前	5 分	0 分	0 分	0 分	0 分	0 分
実施時間	午前	0 分	0 分	0 分	0 分	0 分	0 分

1 いろいろなノートのgood例

2 今週の時間割

3 今月の月行事

3 チャレンジ問題&補助教材

- ① 児童生徒の学習した内容で、素晴らしいものが あった場合、ここに添付しておく。
- ② 今週の時間割や月行事を添付しておくことで、児童生徒自身で、予習や復習の教科を主体的に 考えて取り組むことができる。
- ③ 補助教材の紹介として、学習者用デジタルコン テンツの活用を促す。

「家庭学習MGC」実践例

十島村
教育委員会

悪石島学園 後期課程

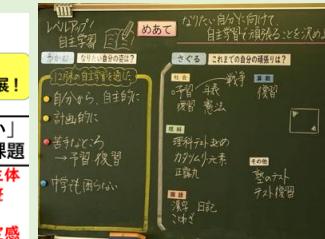
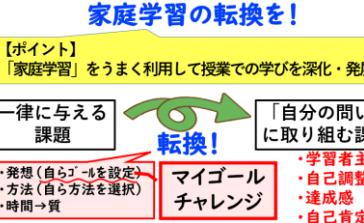
○ 家庭学習の基本的な考え方

★ 職員研修での共通理解

授業の中における「振り返り」とは…



家庭学習の転換を!



★ 生徒とともに家庭学習の意義・目的を考え、改善と見直しを行う。

- 復習で知識や技能の定着を図る。
 - ・ワークでの復習
 - ・リクエストプリント
 - ・テストや教科書の解き直し
 - ・訂正ノートの作成
- 予習を推進する。
 - ・学習計画シートの活用
 - ・学習内容への関心を高める
 - ・教科書を大まかに目を通すだけでもよい
- 自分の学びを深める。
 - ・調べ学習による発展的な学習
 - ・主体的・能動的に学ぶ力を高めることにもつながる

★ 生徒にマイゴールを意識させ、自己選択、自己決定させる。

- 自らの課題や興味に応じた家庭学習の目標や内容、量を決めさせる。
- 授業の最後に、家庭学習を決めさせる。
- 探究的な学びや体験的な活動にも取り組ませることで、家庭学習を進路や生き方につながる深い学びへと発展させる。
- 時間や場所にとらわれない柔軟な学びを支える。

★ 家庭学習強調週間（6・10・11・2月）の充実を図る。

- 生徒との対話
- 家庭との連携
- 家庭学習がんばりカードの活用

○ MGCの取組

【後期課程のMGC】

自己の理想や目標達成のために、自分で決めて取り組む家庭学習

○ 授業内容の振り返りと定着

- ・授業で扱った英文や語彙を「自分ノート」にまとめ、理解を深める。
- ・授業中に分からなかった文法事項を再確認し、例文を自作して練習する。

○ 予習と発展的な学習

- ・次回の授業で扱う教科書の英文を音読・翻訳し、予習する。
- ・授業で扱ったテーマに関連する英語記事や動画を視聴し、感想を英語で書く。

○ 探究的な学び

- ・興味のある国や文化について調べ、英語でプレゼン資料を作成する。
- ・外国語を使ったコミュニケーション活動（例：オンライン英会話、ペンパルとの交流）に挑戦する。

○ I C Tの活用

- ・タブレット端末を活用し、英語学習アプリやオンライン辞書を使って語彙力を強化する。
- ・学習記録を「マイゴールチャレンジカード」に記入し、振り返りを行う。

○ 支援とフィードバック

- ・授業終了時、その日の家庭学習計画を立てる時間を設ける。
- ・生徒の取組に対して、教員が具体的な称賛や助言をコメントとして添える。

○ ワークやプリント、ノートでの学習

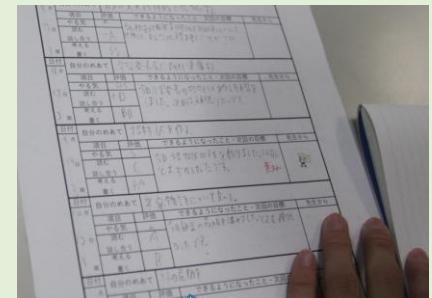
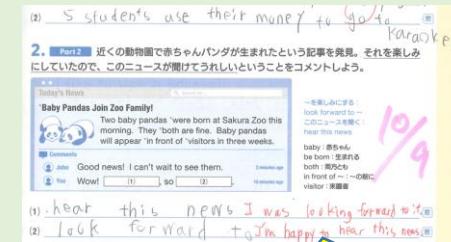
- ・定着のための演習や反復練習を行う。

○ 学びを循環させる仕組みの構築

- ・授業→復習→発展→予習→授業の循環を生徒と教師、家庭が一体となって取り組む。



生徒作成のプレゼン資料



ワークによる復習

振り返りシート

「家庭學習MGC」實踐例

枕崎市 教育委員会

枕崎中学校 1年

○ 家庭学習の基本的な考え方

- ★ 平日は120分以上、休日は180分以上、毎日家庭学習をする。
- ★ 「ながら」勉強はしない（テレビを見ながら ゲームや
スマホをしながら 食べながら）。
- ★ スマホやゲームなどの使用は午後9時まで（家庭学習時間
の確保）。



家庭との連携・小学校との連携

- ・家族からの応援メッセージ(生活設計作成時)
- ・「ノーメディア週間」の取組(年3回,定期テスト前)

○ MGCの取組

【中学1年生 学習習慣定着のMGC】

「独り立ち」のために、主体性向上に取り組んだ家庭学習

★ ポイント

自分で設定した学習時間に合わせて、
自主学習ノートに、自分の取り組むべき
課題を決めて、計画的に取り組む。

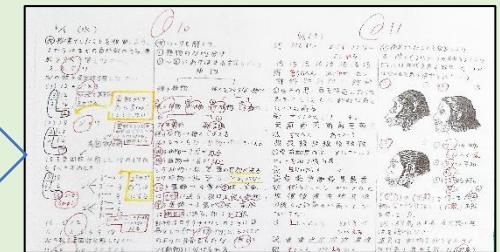
★ 内 容

- 授業の予習（語句・用語調べ、教科書の例題など）
- 授業で学習したことの復習や、理解が不十分な課題や問題の復習
- テストでの不正解問題の復習
- 問題集（時間を置いて3回繰り返し）
- 反復学習（漢字、英単語、計算など）
- 読書（さまざまなジャンルを）
- 新聞やニュースについての自分の考え（コラム等を読み、感想を書く）

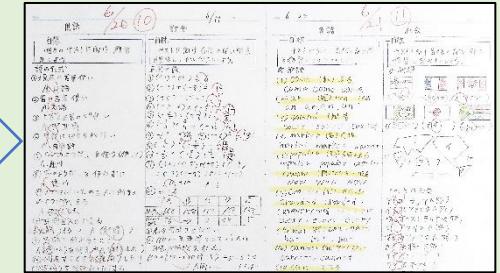
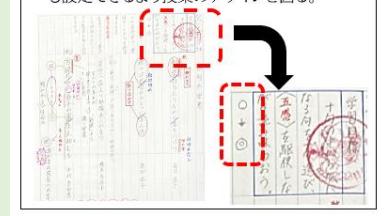
—「マイゴールチャレンジ」—

- 時間を決めて集中して取り組んだ。
- 答え合わせを自分でできた。
- 始めと終わりの時刻を記録した。
- 書く学習ができた（書いて覚える, 書いて整理する, 書いて確かめる）。
- 目標をもって, 計画的に自分のレベルを向上させた。
- 同じ教科に偏らず, 苦手な教科にもチャレンジした。
- 授業で分からなかった問題を解いた。
- さらに難しい問題に挑戦した。

理解を深める家庭学習



テスト前の家庭学習



「家庭学習MGC」実践例

指宿市
教育委員会

川尻小学校 5・6年複式学級

○ 家庭学習の基本的な考え方

※ 「家庭学習の手引き」を低・中・高学年で作成し、年度当初に子供たちに指導するとともに、保護者に周知しています。

★ 家庭学習を始める前の約束

- 1 学校からのプリント等を家の人に渡しましょう。
- 2 机の上をきちんと片付けて、勉強の準備をしましょう。
- 3 テレビやゲームを消し、部屋や机のあかりをつけましょう。

★ 家庭学習のポイント

- 1 毎日始める時刻を決めて、勉強しましょう。
- 2 はじめに音読、宿題を済ませましょう。
- 3 宿題が終わったら、自主学習をしましょう。
- 4 全部終わったら、お家の人に見てもらいましょう。
- 5 勉強が終わったら、次の日の準備をしましょう。

【家庭学習のステップ1・2・3・4】

学習時間のめやす：60分+読書

- 1 宿題をする。
自分の考えや気持ちを整理し、文章の構成を考えて日記に書きましょう。
- 2 音読をする。
情景を思い浮かべながら感情を込めて読むなど、自分のめあてを決めて読みましょう。
- 3 自主学習をする。
 - 授業の復習や予習をしましょう。
 - 「自主学習のメニュー」（※「家庭学習の手引き」に記載）を参考に、工夫して学習しましょう。
 - 自分に合った問題集等にチャレンジしましょう。
- 4 読書をする。
 - 伝記や物語など、いろいろなジャンルの本を読みましょう。
 - 一週間に1冊以上は読みましょう。



○ MGCの取組

【小学6年生 社会科のMGC】

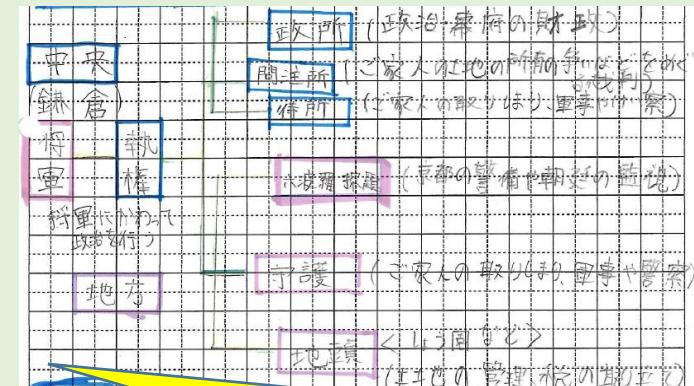
授業で学んだことをより深く理解するために、自主学習に取り組んだ家庭学習

★ポイント

教科書やノートを読み返して、授業で学んだことを「自学ノート」にまとめる。

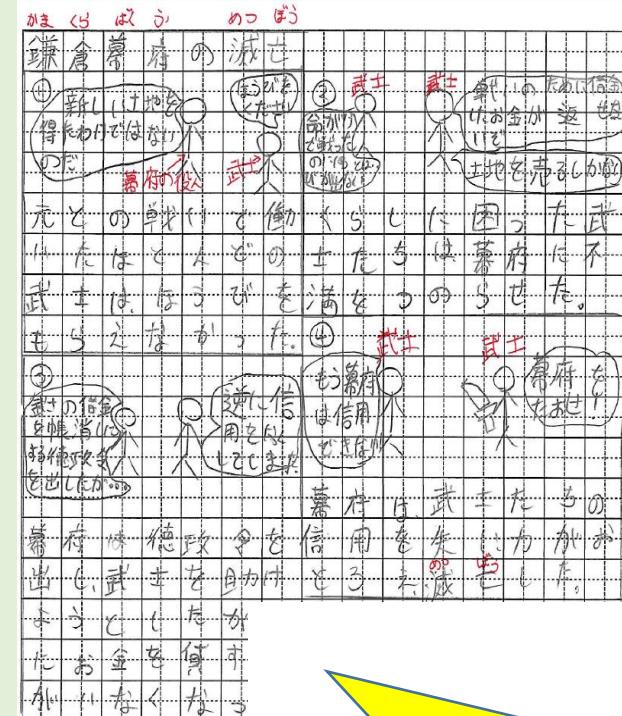
自主学習のメニュー：社会

- できなかった問題にもう一度挑戦する。
- 教科書を読んで、大切だと思う言葉を書き出し、関係のある資料を読む。
- 学習したことを百科事典やインターネットなどで詳しく調べ、まとめる。
- 日本や国土の様子について調べ、まとめる。
- 都道府県の特色や世界の国々（国旗、言葉、食べ物など）を調べる。
- 世界遺産を調べ、まとめる。
- 歴史上の人物を調べ、歴史新聞を作る。



Bさんの「自学ノート」

授業では詳しく調べることができなかった教科書51ページの図を見やすく整理することで、鎌倉幕府の仕組みを自分なりに理解しようとしている。



Aさんの「自学ノート」

鎌倉幕府がどうして滅んでしまったのかを分かりやすく自分なりの絵(四コマ漫画風)で表現し、理解を深めようとしている。

子供が提出した「自学ノート」には、称賛や助言などのコメントを添えて返却しています。

(様式1)

「家庭学習MGC」実践例

 南九州市
教育委員会

宮脇小学校 6年



○ 家庭学習の基本的な考え方

★ 家庭学習の5つの意義

- ①学習内容の定着 ②学習習慣の定着 ③粘り強さや集中力の育成
- ④脳の活性化 ⑤家族とのふれあい

★ 家庭学習の目的を達成するために必要な家族の協力

- ・ 「早寝・早起き・朝ご飯」などの生活リズム
- ・ メディアの誘惑に打ち勝つための環境の整備
- ・ 子供の頑張りを認め、ほめて、励ます家族の支援

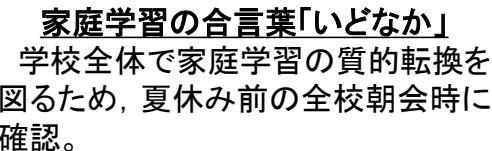
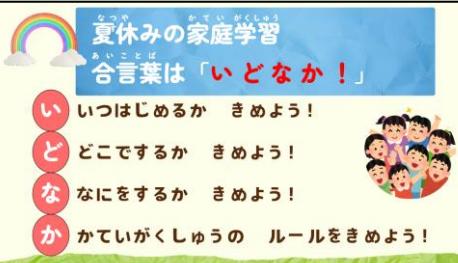
★ 自ら取り組めるようにするための「しおり」の配布

- ・ 毎日するもの
(音読、漢字、計算、日記、読書等)
- ・ 自分で考えてするもの:授業や個人の興味・関心、発達段階に応じた内容(テストの復習、次の日の予習、調べ学習、俳句や詩づくり等)

家庭学習の手引き

「①意義②ポイント③方法」

家庭学習について家庭と共通理解を図るために、学級PTAで提供。



○ MGCの取組

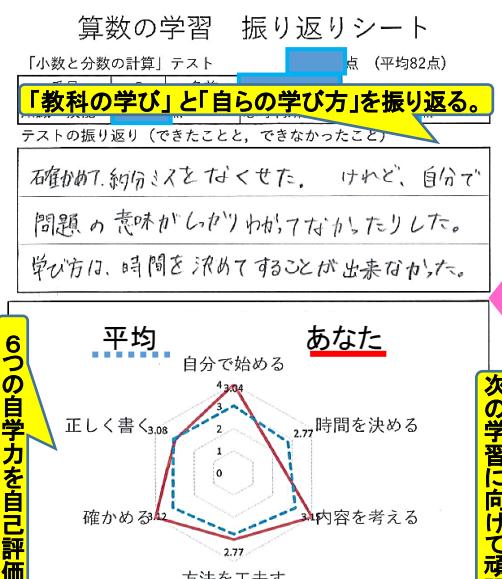
【小学6年生 算数科のMGC】

「小数と分数の計算」において、自分の目標を達成するために、自ら調整しながら学びに取り組む家庭学習

4 振り返る

「算数の学習 振り返りシート」

テスト返却後に、保護者と共に自らの学び方を振り返る。



これから頑張りたいこと、次の学びに生かしたいこと

これからは、時間を決めて、学習をがんばりたい。
たい。50分から1時間はがんばりたい。

保護者からのコメント

確かめはしりでしているので、学習の時間をしっかり設けて
取り組んでよいです。(△△△△△)

1 目標設定

テストの日程を知り、計画を立てる。

家庭学習(MGC)

○ AIドリルの利用

- ・ 単元ごとのワークブック作成
- ・ 日ごとではなく、単元ごとの長いスパンでの取組

○ 宅習帳で自主学習

- ・ 授業の振り返りを生かした学習内容の選択
- ・ 宅習帳への記載事項
 - ①振り返り②目標③練習等
 - ④丸付け ⑤分析⑥振り返り

3 単元テスト(評価)

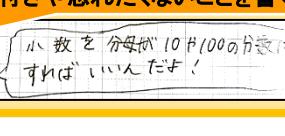
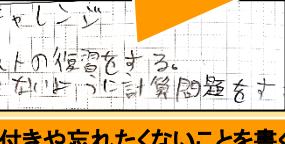
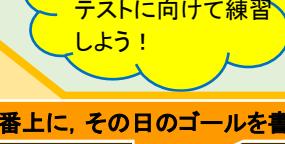
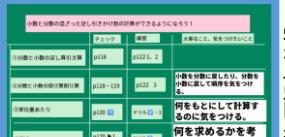
学習の成果を試す。

MGCを中心にした学習のサイクル
MGCとサイクルの関連

目標や授業、単元テスト、振り返りを家庭学習と関連付けて、取り組み方や内容を児童が考えられるよう、教師は支援する。

2 学習者主体の授業

目標に向け、学習内容の順序や学習方を選び、学びを進める。



今日の学習で約分ミスがあったから、テストに向けて練習しよう！

宅習帳の一番上に、その日のゴールを書く。

